

平成 26 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
 (コード番号：4570)
 本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
 代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
 問 合 せ 先 取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人
 電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
 U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、最近の業績を踏まえ、平成26年5月13日に公表しました平成27年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、本業績予想の修正を受けて、役員報酬の減額を決定いたしましたので、併せてお知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 3 月期連結業績予想数値の修正

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 一株当たり 当期純利益 |
|------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 900 | 10 | 10 | 3 | 0 円 45 銭 |
| 今回修正予想 (B) | 700 | △170 | △140 | △150 | △22 円 91 銭 |
| 増減額 (B - A) | △200 | △180 | △150 | △153 | |
| 増減率 (%) | △22.2 | - | - | - | |
| 前期実績 (平成 26 年 3 月期) | 670 | △107 | △99 | △114 | △17 円 99 銭 |

(2) 修正理由

①診断・試薬関連事業

(研究用関連)

当社の自社製品である E I A 測定キット並びに抗体の製品販売が振るわず、予想を大きく下回る見込みとなりました。そのような状況のもと、当社は、国内独占販売契約先であるタカラバイオ㈱と協議を重ねた結果、この度、販売契約の見直しをすることとなりました。(本日発表の「タカラバイオ株式会社との販売契約の変更に関するお知らせ」を参照)

当社は、早急に販売体制の再構築を進めてまいります。今期において効果を出すまでには至らず、来期以降の販売増を見込んでおります。

②遺伝子組換えカイコ事業

同事業は、体外診断用医薬品の原料供給を目指して受託生産を行っていましたが、カイコ生産抗体の優位性が明らかとなり、既存製品の原料切り替えではなく、優位性を生かした新製品の開発を目指すこととなりました。そのため、今期に予定していた既存製品切り替えの受託生産は、減少する見込みとなりました。なお、次期以降、新規の受託生産は、増加する見込みであります。

③検査事業

同事業は、主に株式会社スカイライト・バイオテック（以下、「SLB」という）によりセグメントが構成されております。SLBでは、複数の大手製薬企業より新規治療薬研究・開発に付帯するリポタンパク質プロファイル分析業務を受託しております。その中で、2010年末以降継続的なサポートを実施し申請に向けて大型化した新規脂質異常症治療薬開発プロジェクトが、凍結となりました。これに伴い、当初見込まれた同プロジェクト関連業務はすべて中止となり、予想を下回る見込みとなりました。

④化粧品関連事業

同事業は、主に株式会社エムコスメティックス（以下、「MC」という）によりセグメントが構成されております。MCは、ネオシルク[®]-ヒトコラーゲンIを含有する化粧品の「MC25」シリーズ及び「フィルソワ」を量販店等へ販売活動を進めてまいりましたが、ずさんな販売戦略と独善的なデザインが市場に受け入れられず、販売予想を大幅に下回る見込みとなりました。

また、同社は、当社が生産するネオシルク[®]-ヒトコラーゲンIを新規化粧品原料として、化粧品業界への販売展開を予定していましたが積極的な販売活動が実施されておらず、売上高に貢献することが出来ませんでした。

一方で、完全子会社（非連結）である株式会社ネオシルク化粧品は、ネオシルク[®]-ヒトコラーゲンI配合化粧品「フレヴァン（6点セット）」を通信販売で皆様にお届けしております。同社は、群馬発の化粧品として、群馬県を中心とする新聞等に積極的に広告掲載を実施しており、着実に定期購入者が増加しております。

このような状況の中、当事業においては、MCの再建を最重要課題とし、平成26年7月4日のMC取締役会において、当社代表取締役社長清藤勉がMC代表取締役社長に就任し、組織再編を視野に入れた経営の立て直しを図ってまいります。

以上により、平成27年3月期の連結売上高は、予想から200百万円減少し、700百万円となる見込みであります。

利益面においては、売上高の減少に伴い営業利益及び経常利益並びに当期純利益が減少いたします。なお、当第3四半期連結会計期間における当社個別決算において子会社の株式会社エムコスメティックスの株式につきまして、減損処理を行い、特別損失に計上（本日発表の「当社子会社株式の減損処理に伴う特別損失計上に関するお知らせ」を参照）する予定であります。

2. 役員報酬の減額について

当社は、平成27年3月期連結業績予想数値の下方修正を真摯に受け止めるとともにMC株式の減損処理による特別損失の計上（本日発表の「当社子会社株式の減損処理に伴う特別損失計上に関するお知らせ」を参照）について、その経営責任を明確にするため、以下のとおり取締役の役員報酬の減額を実施することといたします。

(1) 取締役報酬の減額内容

| | |
|---------|---------------------|
| 代表取締役社長 | 月額報酬の80% |
| 取締役 | 月額報酬の20%（MC取締役兼務役員） |

(2) 対象期間

平成26年12月から平成27年3月まで

(注) 上記予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上